

・資料1

富士山ハザードマップ検討委員会 第4回基図部会資料

目 次

- 1．総説
 - 1.1 富士山ハザードマップ検討の背景と目的
 - 1.2 検討の進め方
 - 1.3 基本概念・用語の定義
- 2．ハザードマップ作成にあたっての基本的考え方
 - 2.1 火山活動及び関連する災害現象の想定にあたって
 - 2.2 ハザードマップとして用意するもの
- 3．既往研究に基づく富士山の噴火等の特性とハザードマップ作成にあたって不足している点
 - 3.1 既往研究による成果
 - 3.2 ハザードマップ作成にあたり調査を要する事項
- 4．今回の調査等成果および最近の研究により新たに判明したこと
 - 4.1 今回の調査結果
 - 4.2 最近の研究により新たに判明したこと
 - 4.3 今回の調査で判明したこと
 - 4.4 今後の調査について
 - 4.5 今後の検討課題
- 5．検討対象とする噴火等ケース
 - 5.1 検討対象とする噴火現象の考え方
 - 5.2 対象とする土砂災害等のケースの考え方
 - 5.3 可能性マップ
 - 5.4 防災ドリルマップ
- 6．宝永型噴火と貞観型噴火の噴火シナリオ
 - 6.1 試作品の対象とする噴火等ケース
 - 6.2 シナリオ作成のための手法
 - 6.2 宝永型噴火シナリオ
 - 6.3 貞観型噴火シナリオ

・第4回基図部会提出資料(産業総合技術研究所)

- 1．富士火山で過去2000年間に噴出した溶岩流とその火口列に関する新たな知見(高田亮・山元孝広・石塚吉浩 未公表資料)
- 2．富士火山西～南西斜面で発生した玄武岩質火砕流の特徴とその起源(山元孝広・高田亨 未公表資料)

・宝永四年(1707年)噴火に伴う噴出物の堆積時間と噴出物の推移(改訂版)(宮地直道(農業技術研究機構野菜茶業研究所)・小山真人(静岡大学教育学部総合科学教室) 未公表資料)